

（1）りんごの生態

管内ふじの生態は4月16日に展葉が確認されており、平年より1日程度早い状況です。
 気象庁の2週間気温予報からも今後の気温は平年並～高い予報のため、生態も加速するものと思われます。

調査地点	つがる		ジョナ		王林		ふじ	
	発芽日	展葉日	発芽日	展葉日	発芽日	展葉日	発芽日	展葉日
鬼 沢	4/6	4/16	4/5	4/13	4/4	4/14	4/7	4/16
新 和	4/7	4/16	4/5	4/12	4/6	4/13	4/8	4/16
三 和	4/5	4/16	4/3	4/12	4/2	4/12	4/6	4/16
十腰内	4/7	4/16	4/2	4/12	4/5	4/13	4/7	4/16
農協平年	4/9	4/17	4/6	4/14	4/6	4/14	4/9	4/17
りんご研究所	4/4	4/14	3/31	4/10	4/3	4/11	4/7	4/14

4/16 現在

（2）薬剤散布

第一回目の薬剤散布は、平場で4月23日頃の予想となります。
 今年も薬剤散布が始まりますので、農作業中の事故には十分気をつけましょう。

回数 (散布量)	散布時期 (散布日)	対象病虫害	薬剤名 及び調合順序	倍 数	1000 当り薬量	防除上の注意
1 (300)	ふじの 展葉1週間後頃 (4月23日)	黒星病・モニリア病 うどんこ病 リンゴハダニ	精製マシン油 ベフラン液剤	200倍 1,000倍	5L 500ml×2	クワコナカイガラムシの発生が見られる園地では、「ふじの展葉1週間後頃」にアプロードF1,000倍を加用する。
2 (320)	ふじの 開花直前 (5月1日)	黒星病・モニリア病 うどんこ病 ミダレカモノハシ	パレード15フロアブル バイオマックスDF	2,000倍 2,000倍	250ml×2 500g×1	前回との散布間隔は10日以内としましょう。
3 (350)	ふじの 落花直後 (5月11日)	黒星病・黒点病 うどんこ病 ミダレカモノハシ	ミギワ20フロアブル ジマンダイセン水和剤 バイオマックスDF	4,000倍 600倍 2,000倍	125ml×2 1.67g×1 500g×1	リンゴクビレアブラムシ対策発生が確認された場合はウララDF4,000倍を基準防除に加用する。

散布日は平場を基準としています。

（3）結実確保対策

近年、りんごの生態が早まるにつれ、降霜被害が見られます。
 りんごの耐凍性は花蕾露出期（-2.1）から開花期（-1.5）まで徐々に弱まり、低温で1時間以上経過すると被害が発生する恐れがありますので、凍霜害対策と合わせてマメコバチの巣箱の設置や人工授粉を行うなど、結実確保対策も行いましょう。

○マメコバチ

- ・巣箱の前に穴を掘り、土取り場を設置してください（深さ40cm程度）
- ・土取り場が乾燥している場合は散水して湿らせましょう。
- ・マメコバチは活動範囲が狭いため（約40m）園地内に分散して設置しましょう。

○人工授粉

	ボンテン	ラブタッチ	人工授粉は下枝や内枝を中心に行いましょう。
10a当たり作業時間	8時間程度	2時間程度	
10a当たり花粉使用量	花粉12g + 石松子50g	花粉20g + 石松子80g	



採取には早い
蕾がまだ赤い



開薬に最適な状態な花
つぼみがピンクの風船
状態で薬が黄色い



遅い花
薬の色が茶色い

各開薬所受付日 船沢...4/24より、三世寺、高杉...4/28より
 十腰内...4/30（予定）今後の生態の進みにより臨機応変に対応いたします。